

「納豆」の新製品開発・マーケティング支援から経営・事業戦略支援

支援の経緯・課題

(株)エイコー食品は、納豆が苦手な方にも食べて頂けるように仕上げる蒸煮と発酵技術を自社技術とする企業です。2019年12月の初回訪問以来、情報交換を重ねるごとに同社の現状と将来に向けたブレークスルーについてのコンサルティング要望が高くなり、同社事業である「納豆製造・販売」という成熟マーケットでの新たな事業開拓、さらには、近い将来の事業承継も視野に入れた経営のブレークスルーに対する支援を求められている。



さらには、近い将来の事業承継も視野に入れた経営のブレークスルーに対する支援を求められている。

支援内容

日本古来の発酵食品である「納豆」メーカーとして、全国納豆鑑評会でも5度の入賞歴を誇るエイコー食品の技術・ノウハウをコアコンピタンスと位置づけ、新製品開発&マーケティング強化による新市場開拓、販売力強化、事業規模の飛躍的拡大をテーマとした経営戦略&事業戦略の策定・実践に着手。これを後方から、あるいは側面から、さらにはコンサルレベル、ビジネスレベルからの支援を実行中。

支援の成果

2020年10月現在、まったく新しい発想とコンセプトによる新製品の開発にトライ中。新製品量産のための生産設備の導入とwithコロナ対策としてのオンライン戦略も踏まえた「ものづくり補助金」申請にもトライ（2021年2月採択済）。新製品を前面に押し出したマーケティング戦略も企画立案中であり、具体化のためのクリエイティブも全面支援。今後は、将来への事業ビジョンを明確に描くロードマップ（経営戦略）の策定をサポートしていく予定。

支援企業

株式会社エイコー食品

取締役会長 佐藤 光晴 創業：2008年9月19日

事業内容：納豆の生産、販売

所在地：門真市大橋町26-23

企業様の声

門真市中小企業サポートセンターの担当コーディネーターとの出会いが、シュリンクしかけていた事業意欲をポジティブな方向にシフトする機会となった。次代への事業承継に向けても、具体的なビジョンを描き、会社の明日を切り開くきっかけになった。

担当CDより

エイコー食品様は、卓越した納豆製造技術とノウハウをしっかりと保有しているにも拘わらず、事業ビジョンの明確化が遅れていることが要因となって、ネガティブな経営イメージをもっておられました。自社のポテンシャルと明確なマーケティングのベストミックスが大きな可能性を呼び起こすことに気が付かれ、ポジティブなビジネスへ舵を切っていくことに着手されました。今後も継続して支援していきたいと思っています。